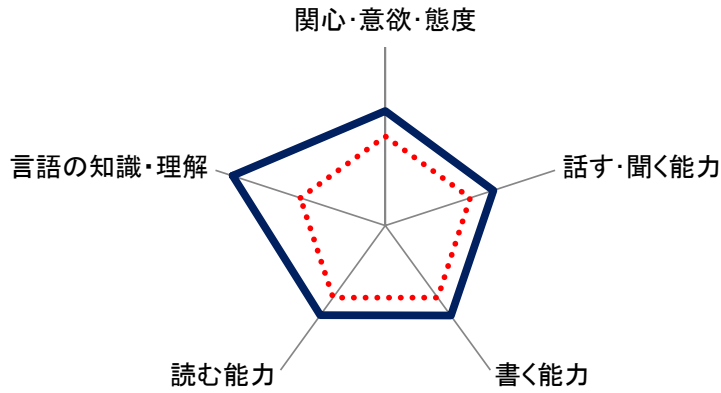


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

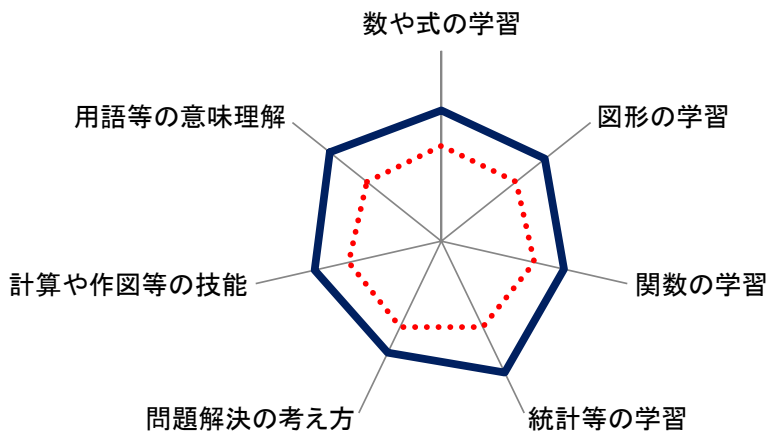
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

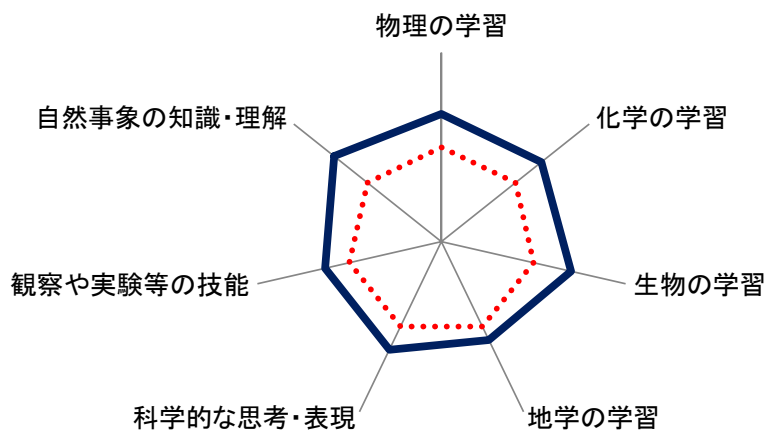
— 町平均
..... 全国平均



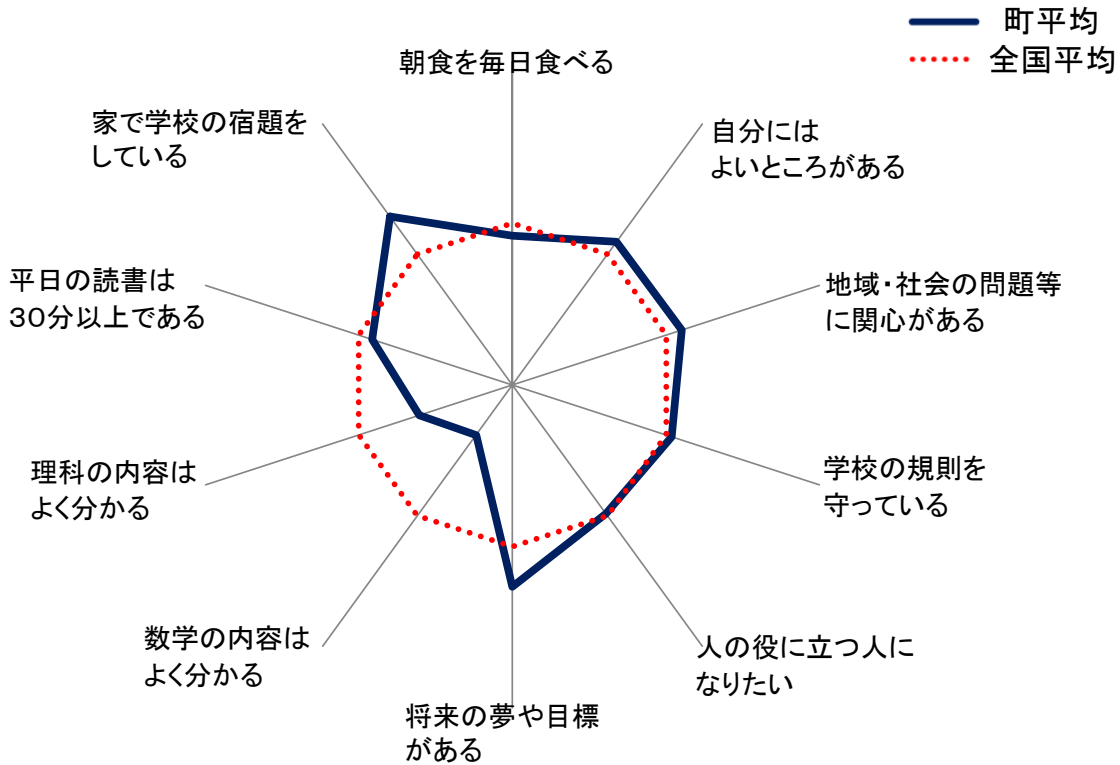
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学、理科の全ての項目で全国平均を上回っている上に、大きく上回っている項目が多く結果はきわめて良好である。特に国語では「言語の知識・理解」、数学では「統計等の学習」の各項目で、昨年度に引き続き、全国平均を大きく上回っており、理科では「生物の学習」や「自然事象の知識・理解」の各項目が良好である。今後も、生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導を継続し、知識と活用のバランスの取れた学力を育成していくことが望まれる。

生徒質問紙調査では、「将来の夢や希望がある」や「家で学校の宿題をしている」など自尊感情や家庭学習習慣に関する項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。反面、良好な学力の結果にも関わらず、「数学、理科の内容はよく分かる」の各項目が、全国平均を大きく下回っている。原因を分析し、生徒にとってより「楽しい授業、分かる授業」となるよう更に授業改善を図るなどの対策が必要である。平日も読書に親しむ習慣づくりや朝食の摂取等の基本的な生活習慣の確立に向け、小中学校はもとより家庭・地域との連携を深めるなど充実を図ることが望まれる。